



## 2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月13日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社

上場取引所

東

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部长

(氏名) 勘田 浩之

TEL 072-991-1001

定時株主総会開催予定日 2022年6月29日

配当支払開始予定日

2022年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	37,248	25.8	5,758	45.9	7,738	60.9	5,491	60.0
2021年3月期	29,605	5.7	3,945	17.0	4,809	11.7	3,433	11.7

(注) 包括利益 2022年3月期 6,026百万円 (39.5%) 2021年3月期 4,319百万円 (31.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2022年3月期	1,697.19		9.0	10.7	15.5
2021年3月期	1,060.99		6.1	7.2	13.3

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 129百万円 2021年3月期 160百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2022年3月期	76,207	63,392	83.0	19,544.43
2021年3月期	68,650	58,343	84.8	17,986.18

(参考) 自己資本 2022年3月期 63,237百万円 2021年3月期 58,200百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	4,335	685	983	44,873
2021年3月期	5,043	764	987	40,681

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2021年3月期		0.00		300.00	300.00	970	28.3	1.7
2022年3月期		0.00		350.00	350.00	1,132	20.6	1.9
2023年3月期(予想)								

2023年3月期の配当予想は、現時点では未定としております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現段階では未定としています。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	4,512,651 株	2021年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2022年3月期	1,277,085 株	2021年3月期	1,276,779 株
期中平均株式数	2022年3月期	3,235,713 株	2021年3月期	3,235,931 株

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	36,967	26.1	5,742	47.4	7,642	63.3	5,408	62.5
2021年3月期	29,312	5.2	3,896	17.5	4,681	11.5	3,328	11.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	1,671.46	
2021年3月期	1,028.50	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	74,513	61,606	82.7	19,040.36
2021年3月期	67,134	56,787	84.6	17,549.29

(参考) 自己資本 2022年3月期 61,606百万円 2021年3月期 56,787百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン接種が普及する一方、感染者数の急増の影響もあり足踏み状態が続いております。世界経済では日本よりワクチン接種が先行する米国、欧州では景気の回復が見られる一方、変異株による感染の再拡大と中国では感染拡大対策として都市封鎖を実施したことによる経済への影響、半導体等の原材料不足、ロシアによるウクライナへの侵攻とそれに対する制裁措置による原材料の供給不安、またそれに伴う仕入価格の高騰による影響が懸念されます。

当社グループの販売状況につきましては、国内ではワクチン接種の拡大もあり、顧客における生産活動は回復基調にあるものの、緊急事態宣言等の断続的な発出の影響により依然自粛ムードを引きずり、全体としては十分な回復には至っておりません。海外では自粛からの段階的な経済活動の再開により需要は回復しておりますが、海上運賃の高騰や一部でのコンテナ確保難等の物流の混乱は収まる気配がありません。感染症の再拡大や世界的な半導体不足による自動車の減産に加え、原料の価格高騰や調達懸念等が続く中、ウクライナ問題の発生により先行きの不透明感は更に強まっております。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高37,248百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益5,758百万円（前年同期比45.9%増）、経常利益7,738百万円（前年同期比60.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5,491百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

日本における当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は36,635百万円（前年同期比25.7%増）、セグメント利益（営業利益）は5,742百万円（前年同期比47.4%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維での産業資材用途は自動車の生産量減少の影響を受け低迷しました。衣料用途は底を打ったものの十分な回復には至っておりません。海外向けは総じて堅調で、外部顧客に対する売上高は3,221百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては国内ではスポーツ衣料向けは好調に推移しているものの、ユニホーム・カジュアル分野はテレワークの増加により低調となっております。自動車向け資材も生産調整により回復のペースが落ちました。非繊維工業分野では自動車、トイレットリー向けは、販売縮小となりましたが、海外向けは総じて好調で、外部顧客に対する売上高は22,534百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維衣料用加工剤の販売が改善しました。また、シャンプー、家庭用洗剤向けが伸長し外部顧客に対する売上高は998百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では衣料の国内生産は引き続き低迷しました。非繊維工業関連では、メインの自動車用途において自動車メーカーの生産調整の影響を受けましたが、全体としては回復基調にあり前年同期を上回る販売となりました。設備投資関連資材は終売により販売縮小となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は9,881百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

#### ② インドネシア

インドネシアにおける当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は612百万円（前年同期比30.0%増）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響でインドネシア国内において、大規模な社会制限（PSBB）が実施され、企業活動が低下し、その後回復が見られたものの、新型コロナウイルス感染症発生以前までの水準までは戻っておりません。

非イオン界面活性剤の分野においても新型コロナウイルス感染症の影響で、顧客のほとんどで生産量が落ち込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症発生以前までの水準まで戻りつつあります。その結果、外部顧客に対する売上高は402百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野は、国内市場が縮小したままで糊剤を使用しない生産が多く行われており大幅に出荷量が落ちた一方、輸出に関しては昨年より増加傾向にあります。その結果、外部顧客に対する売上高は197百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両イオン界面活性剤の分野におきましては、大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高はそれぞれ8百万円（前年同期比30.9%増）及び3百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

### （資産）

当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べて11.0%増加し、76,207百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.6%増加し、60,276百万円となりました。これは、有価証券が3,927百万円減少したものの、現金及び預金が7,095百万円、受取手形及び売掛金が1,774百万円、商品及び製品が597百万円、その他が1,083百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、15,930百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が360百万円、建物及び構築物が216百万円減少したものの、投資有価証券が929百万円増加したことなどによるものです。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.9%増加し、11,404百万円となりました。これは、その他が422百万円減少したものの、買掛金が1,769百万円、未払法人税等が990百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、1,409百万円となりました。これは、繰延税金負債が140百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて24.3%増加し、12,814百万円となりました。

### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し、63,392百万円となりました。これは、利益剰余金が4,520百万円、その他有価証券評価差額金が384百万円増加したことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末の84.8%から83.0%となりました。

期末発行済株式数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の17,986円18銭から19,544円43銭となりました。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、4,192百万円増加し、当連結会計年度末には、44,873百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは4,335百万円の増加（前連結会計年度は5,043百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益7,775百万円、減価償却費929百万円、仕入債務の増加額1,762百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額1,820百万円、法人税等の支払額1,374百万円、為替差益1,477百万円、棚卸資産の増加額1,099百万円であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは685百万円の減少（前連結会計年度は764百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,020百万円、保険積立金の解約による収入55百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出1,020百万円、有形固定資産の取得による支出462百万円、投資有価証券の取得による支出208百万円であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは983百万円の減少（前連結会計年度は987百万円の減少）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額970百万円であります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大、ロシアによるウクライナへの侵攻、米国の金融引き締め等、引き続き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような情勢の中、当社グループにおきましても、原材料価格の大幅な上昇や為替相場の円安の進行により、コストアップの影響が生じるものとみられます。

従いまして次期の連結業績予想につきましては、現段階において合理的に算定することが困難なことから、配当予想とともに未定とさせていただきます。

なお、当該予想につきましては、算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,558	43,654
受取手形及び売掛金	8,214	9,989
電子記録債権	200	260
有価証券	3,928	1
商品及び製品	1,827	2,425
仕掛品	519	611
原材料及び貯蔵品	972	1,393
その他	862	1,946
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	53,079	60,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,467	8,467
減価償却累計額	△5,625	△5,841
建物及び構築物(純額)	2,842	2,625
機械装置及び運搬具	14,278	14,501
減価償却累計額	△11,070	△11,654
機械装置及び運搬具(純額)	3,207	2,846
土地	528	530
建設仮勘定	24	5
その他	1,473	1,474
減価償却累計額	△1,330	△1,329
その他(純額)	143	145
有形固定資産合計	6,747	6,153
無形固定資産		
その他	42	31
無形固定資産合計	42	31
投資その他の資産		
投資有価証券	7,908	8,838
繰延税金資産	1	10
その他	877	900
貸倒引当金	△6	△4
投資その他の資産合計	8,781	9,745
固定資産合計	15,571	15,930
資産合計	68,650	76,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,666	8,436
未払法人税等	717	1,708
賞与引当金	321	332
その他	1,350	927
流動負債合計	9,056	11,404
固定負債		
退職給付に係る負債	973	993
資産除去債務	110	111
繰延税金負債	91	231
その他	74	72
固定負債合計	1,249	1,409
負債合計	10,306	12,814
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	51,529	56,049
自己株式	△7,322	△7,326
株主資本合計	56,814	61,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,506	1,891
為替換算調整勘定	△164	△47
退職給付に係る調整累計額	44	60
その他の包括利益累計額合計	1,386	1,905
非支配株主持分	142	155
純資産合計	58,343	63,392
負債純資産合計	68,650	76,207



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	29,605	37,248
売上原価	21,991	27,438
売上総利益	7,614	9,809
販売費及び一般管理費	3,668	4,050
営業利益	3,945	5,758
営業外収益		
受取利息	18	8
受取配当金	116	133
持分法による投資利益	160	129
為替差益	330	1,525
受取賃貸料	44	43
助成金収入	103	28
その他	103	117
営業外収益合計	877	1,986
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	3	-
支払手数料	3	3
損害賠償金	0	0
ゴルフ会員権評価損	3	-
その他	2	3
営業外費用合計	13	6
経常利益	4,809	7,738
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	190	-
有価証券売却益	-	38
その他	-	0
特別利益合計	191	39
特別損失		
固定資産圧縮損	187	-
固定資産除却損	10	1
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	198	1
税金等調整前当期純利益	4,803	7,775
法人税、住民税及び事業税	1,380	2,318
法人税等調整額	△21	△40
法人税等合計	1,358	2,278
当期純利益	3,444	5,497
非支配株主に帰属する当期純利益	11	6
親会社株主に帰属する当期純利益	3,433	5,491

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	3,444	5,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	856	384
為替換算調整勘定	△27	36
退職給付に係る調整額	46	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	102
その他の包括利益合計	875	528
包括利益	4,319	6,026
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,317	6,007
非支配株主に係る包括利益	2	18

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,518	49,066	△7,321	54,353
当期変動額					
剰余金の配当			△970		△970
親会社株主に帰属する当期純利益			3,433		3,433
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,462	△1	2,461
当期末残高	6,090	6,518	51,529	△7,322	56,814

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	650	△154	6	502	154	55,010
当期変動額						
剰余金の配当						△970
親会社株主に帰属する当期純利益						3,433
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	856	△10	38	883	△11	872
当期変動額合計	856	△10	38	883	△11	3,333
当期末残高	1,506	△164	44	1,386	142	58,343

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,518	51,529	△7,322	56,814
当期変動額					
剰余金の配当			△970		△970
親会社株主に帰属する当期純利益			5,491		5,491
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,520	△3	4,517
当期末残高	6,090	6,518	56,049	△7,326	61,332

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,506	△164	44	1,386	142	58,343
当期変動額						
剰余金の配当						△970
親会社株主に帰属する当期純利益						5,491
自己株式の取得						△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	384	117	16	518	12	531
当期変動額合計	384	117	16	518	12	5,048
当期末残高	1,891	△47	60	1,905	155	63,392

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,803	7,775
減価償却費	931	929
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△135	△141
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△241	△1,477
持分法による投資損益 (△は益)	△163	△123
売上債権の増減額 (△は増加)	△525	△1,820
棚卸資産の増減額 (△は増加)	503	△1,099
仕入債務の増減額 (△は減少)	771	1,762
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	28
固定資産除売却損益 (△は益)	9	1
固定資産圧縮損	187	-
補助金収入	△190	-
その他の営業外損益 (△は益)	△4	△22
未収消費税等の増減額 (△は増加)	134	△44
未払消費税等の増減額 (△は減少)	349	△349
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△5	△13
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△257	114
小計	6,215	5,528
利息及び配当金の受取額	191	181
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,363	△1,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,043	4,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△792	△462
有形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△319	△224
投資有価証券の売却による収入	-	3
投資有価証券の償還による収入	7	0
無形固定資産の取得による支出	△24	-
定期預金の預入による支出	△1,020	△1,020
定期預金の払戻による収入	1,020	1,020
保険積立金の積立による支出	△51	△64
保険積立金の払戻による収入	196	-
保険積立金の解約による収入	29	55
補助金の受取額	190	-
その他	△3	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△764</b>	<b>△685</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△971	△970
非支配株主への配当金の支払額	△13	△7
リース債務の返済による支出	△1	△2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△987</b>	<b>△983</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	252	1,525
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>3,544</b>	<b>4,192</b>
現金及び現金同等物の期首残高	37,137	40,681
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>40,681</b>	<b>44,873</b>

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

さらに、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に界面活性剤を生産・販売しており、国内においては当社が、インドネシアにおいてはマツモトユシ・インドネシアがそれぞれ独立した経営単位として各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、界面活性剤のほか、その他の製品を生産・販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	29,134	470	29,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	178	19	197
計	29,312	490	29,803
セグメント利益	3,896	44	3,940
セグメント資産	67,134	533	67,668
セグメント負債	10,347	126	10,474
その他の項目			
減価償却費	925	5	931
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	477	5	483

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	3,221	8	3,230
非イオン界面活性剤	22,534	402	22,936
陽・両性イオン界面活性剤	998	3	1,001
高分子・無機製品等	9,881	197	10,079
顧客との契約から生じる収益	36,635	612	37,248
外部顧客への売上高	36,635	612	37,248
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	41	373
計	36,967	653	37,621
セグメント利益	5,742	21	5,763
セグメント資産	74,513	627	75,140
セグメント負債	12,907	184	13,092
その他の項目			
減価償却費	921	7	929
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	320	0	321



## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	29,803	37,621
セグメント間取引消去	△197	△373
連結財務諸表の売上高	29,605	37,248

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,940	5,763
棚卸資産の調整額	5	△5
その他の調整額	-	0
連結財務諸表の営業利益	3,945	5,758

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	67,668	75,140
セグメント間取引消去	△98	△209
棚卸資産の調整額	△5	△5
その他の調整額	1,086	1,272
連結財務諸表の資産合計	68,650	76,207

(単位:百万円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,474	13,092
セグメント間取引消去	△98	△209
その他の調整額	△69	△76
連結財務諸表の負債合計	10,306	12,814

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	931	929	—	—	931	929
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	483	321	—	—	483	321

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	21,772	7,274	558	29,605

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
11,936	15,935	1,733	29,605

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	8,787	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	3,914	日本

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	27,168	9,463	615	37,248

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
12,162	21,344	3,741	37,248

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	11,836	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,727	日本

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	17,986.18円	19,544.43円
1株当たり当期純利益金額	1,060.99円	1,697.19円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,433	5,491
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,433	5,491
普通株式の期中平均株式数(株)	3,235,931	3,235,713

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	58,343	63,392
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)		
(うち非支配株主持分)	(142)	(155)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	58,200	63,237
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,235,872	3,235,566

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。